

平成23年9月 横浜市

アジア拠点化を目指した 横浜都心臨海部の国際戦略



目次

1. 横浜市のこれからの都市づくり

「横浜市中期4か年計画における都市構造」

- (1) 首都圏の中の横浜・世界とつながるヨコハマ ……3
- (2) 横浜版成長戦略 ……4
- (3) 様々な産業が織りなす都市の活力 ……5

2. 国際競争力強化に向けた横浜市都心部の取組

■ 「アジア拠点化を目指した横浜都心臨海部の国際戦略」 ……6

■ 特定都市再生緊急整備地域の指定を目指すエリア〈横浜都心臨海地域(仮称)〉 ……8

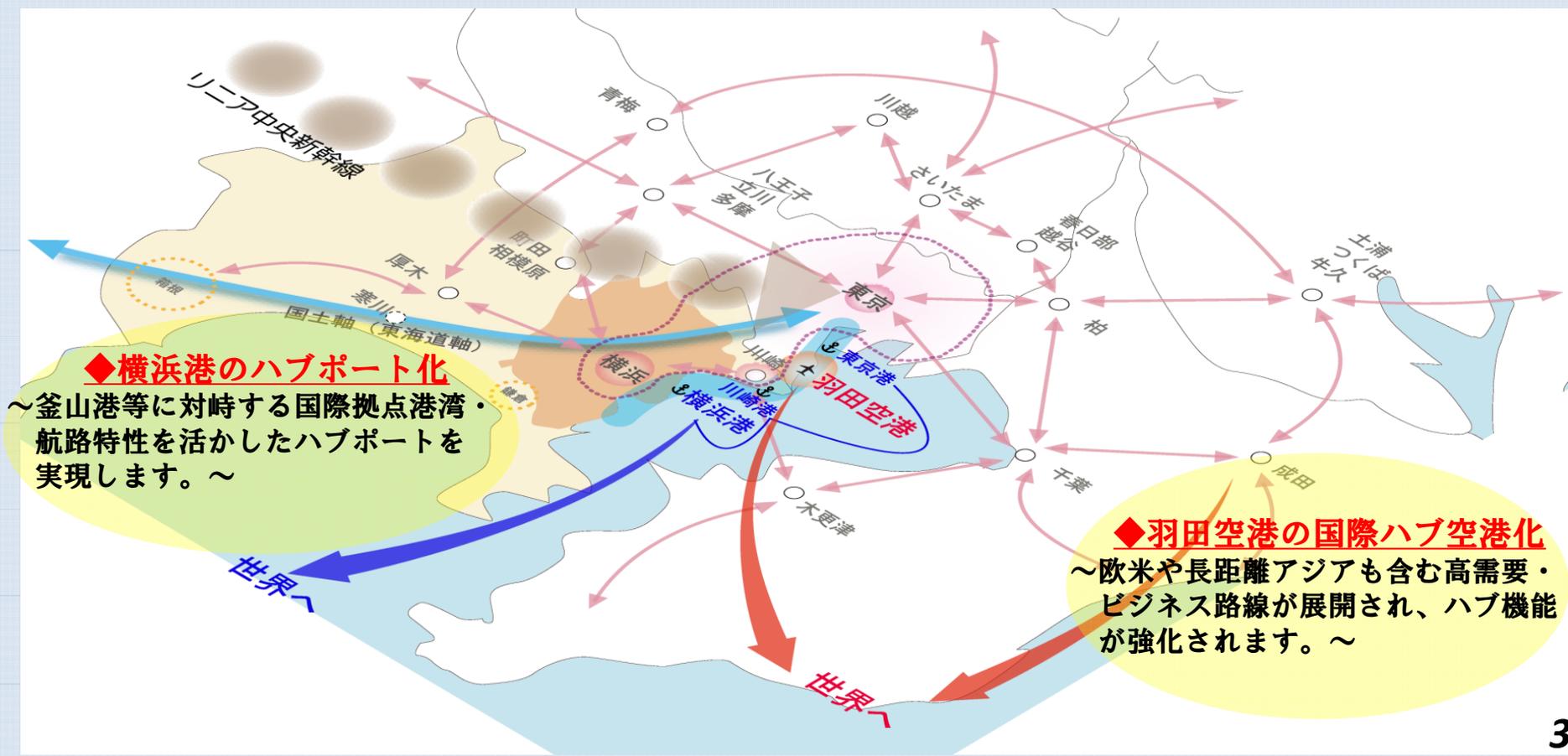
- (1) エキサイトよこはま22 ……9
- (2) みなとみらい21地区 ……10
- (3) 北仲通地区 ……11

1. 横浜市のこれからの都市づくり

横浜市中期4か年計画における都市構造(10年後の姿)

(1) 首都圏の中の横浜・世界とつながるヨコハマ

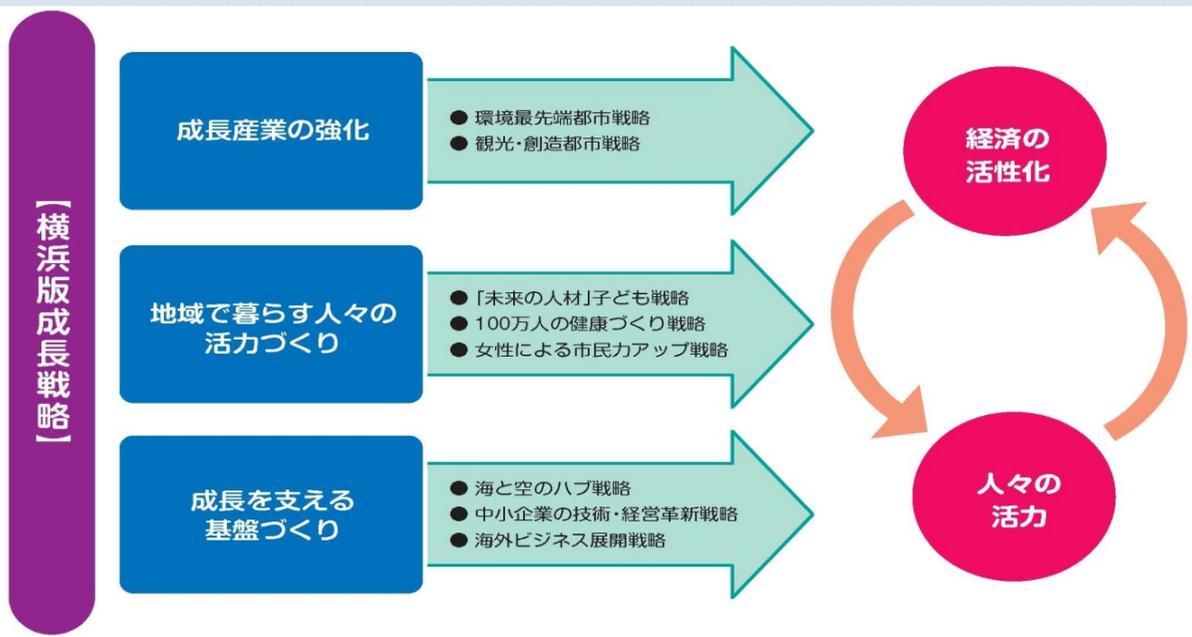
- 日本のけん引役としての首都圏の中において、東京・川崎・横浜の京浜の軸を中心として、横浜の強みを発揮
- 隣接都市等との連携が進み、横浜と隣接都市の活力が高まるとともに、市民に身近な生活圏が充実
- 羽田空港の国際化などにより、より多くの人々に横浜の魅力が伝わり、多くの人が仕事や観光で横浜を来訪
- 東京・川崎との連携のほか、リニア中央新幹線を想定した連携軸や国土軸としての東海道軸、東京・箱根等との観光連携など、広域レベルでの連携強化により、産業の活性化を推進



1. 横浜市のこれからの都市づくり

横浜市中期4か年計画における都市構造(10年後の姿)

(2) 横浜版成長戦略



【戦略1】 環境最先端 都市戦略

低炭素社会の実現に向けた環境分野の新たな需要創出により、市内経済活性化を目指します。
(主な施策)電気自動車の普及促進、横浜スマートシティプロジェクト など

【戦略2】 観光・創造都市 戦略

アジアからの誘客、MICE(P.2参照)の誘致などに取り組み、にぎわいの創造、経済の活性化を目指します。
(主な施策)MICE誘致・開催支援、海外集客プロモーション、文化施設の魅力アップなど

【戦略6】 海と空のハブ戦略

横浜港のハブポート化、羽田空港の国際ハブ空港化などにより、国際競争力の強化、地域経済の活性化を進めます。
(主な施策)国際コンテナ戦略港湾の推進、高速道路網の整備、都心臨海部のまちづくり など

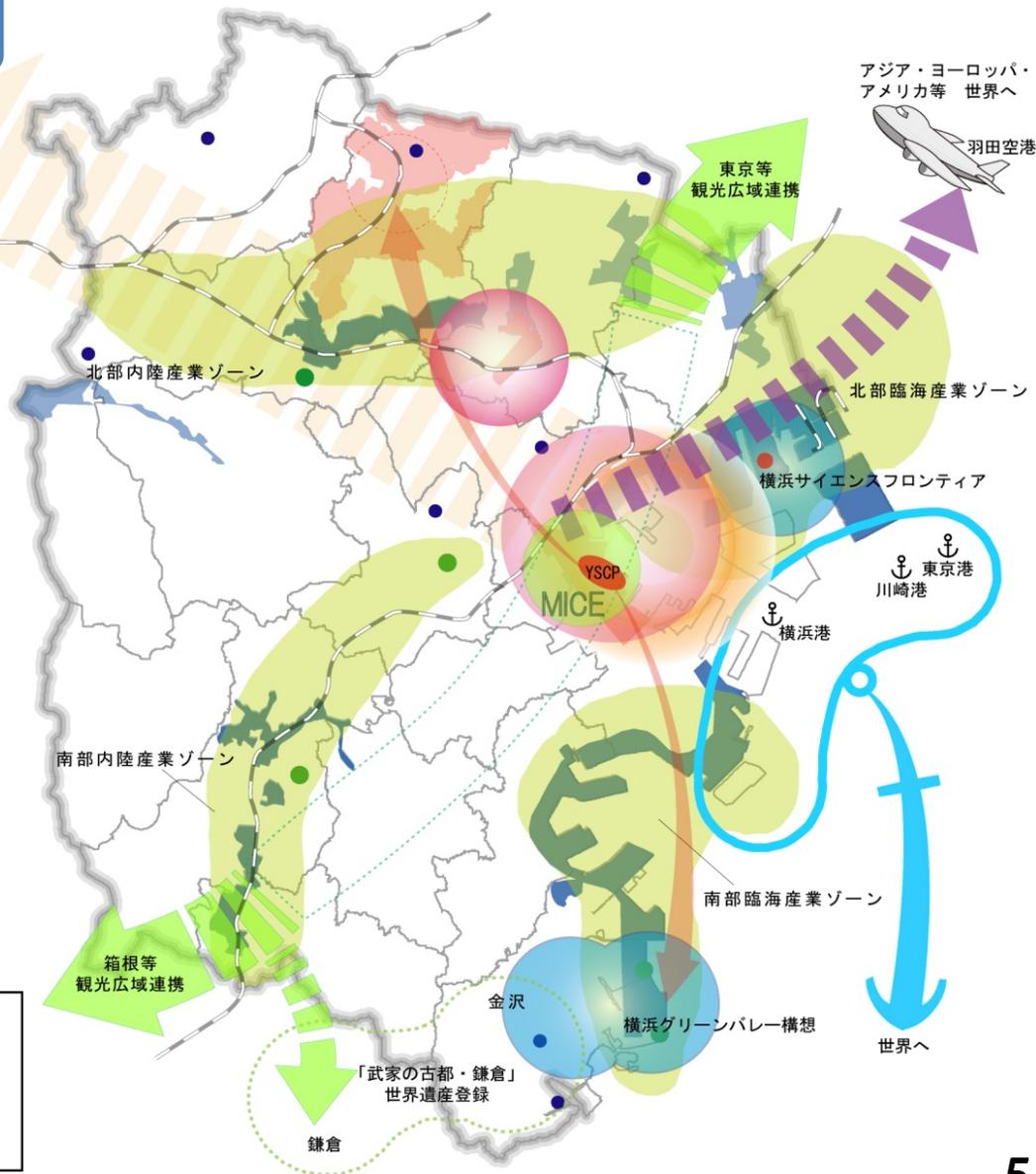


1. 横浜市のこれからの都市づくり

横浜市中期4か年計画における都市構造(10年後の姿)

(3) 様々な産業が織りなす都市の活力

- 都心部を中心に観光・MICE・創造都市の取組による賑わいの創出
- 横浜サイエンスフロンティアを中心としたバイオ関連産業の集積
- 東京・川崎・横浜の3港連携によるハブポート化
- 横浜スマートシティプロジェクトや横浜グリーンバレー構想を契機とした環境関連の産業の成長
- 羽田空港の国際便就航による観光客の増加



【凡例】

- | | | | |
|------------|---------------|------------|-------|
| ○ インナーハブ構想 | ■ 産業集積地 (業務系) | ● 大学 (工学系) | リニア軸 |
| ● 都心部 | ■ 産業集積地 (工業系) | ● ビジネスパーク等 | 羽田空港軸 |
| ● 産業拠点 | ■ 産業ゾーン | ● みなとみらい21 | MICE |
| | | ● MICE | 観光連携 |

2. 国際競争力強化に向けた横浜市都心部の取組

アジア拠点化を目指した横浜都心臨海部の国際戦略

目標

羽田空港の国際化を契機としたグローバル企業のアジア本社や研究開発拠点の集積促進・拠点強化と国際都市にふさわしい環境整備の促進



◆これまでの取組

- 1 企業誘致促進
(横浜市企業立地促進条例
アジア重点交流国・地域企業助成 等)
- 2 基盤整備
(MM21地区土地区画整理事業、
北仲通北地区土地区画整理事業 等)
- 3 環境モデル都市の推進
(横浜スマートシティプロジェクト、
低炭素型次世代交通モデル事業 等)
- 4 文化芸術創造都市の推進
(クリエイティブシティ・ヨコハマ 等)
- 5 コンベンション開催の推進

◆横浜都心臨海部の「強み」

日本国開港の地であるという歴史的背景やリング状のウォーターフロント空間(インナーハーバー)を抱える立地的優位性などを活かし、**外国文化を150年にわたって受け入れ発展してきた「国際都市」横浜として、以下の強みを築いています。**

◆8つの「強み」

- ①2010年10月に国際化した羽田空港への近接性
- ②首都圏有数のターミナル駅である横浜駅と、国際客船も多く寄港する横浜港を抱え、首都高をはじめとする高速道路も充実し、国内外の重要拠点との陸・海からの高いアクセス性
- ③MM21地区や北仲において、既に計画的・環境に配慮して整備されて都市基盤
- ④グローバル企業の本社機能・研究開発拠点が数多く立地
- ⑤開港以来築いてきた歴史的景観と文化芸術創造都市としての取組と港・海・川といった水辺景観が融合した街の魅力
- ⑥都市としてのブランド力の高さ・暮らしやすさ(治安の良さ等)に対する国内外からの高評価
- ⑦コンパクトなエリア内で産業・人材・インフラが高度に集積・連携し、職・住・遊の近接が可能なポテンシャルの高い土地利用
- ⑧2010年11月にAPEC本会議を開催し、国際会議参加者数日本一を誇る複合コンベンション施設であるパシフィコ横浜を中心とした日本を代表するMICE拠点

2. 国際競争力強化に向けた横浜市都心部の取組

アジア拠点化を目指した横浜都心臨海部の国際戦略

1 グローバル企業のアジア本社機能・ 研究開発機能の集積促進と拠点強化

1-1 グローバル企業の誘致推進

- 国内最大規模の手厚さを誇る横浜市企業立地促進条例
- 条例等と連携した日本進出支援・優遇・特例策の実施

1-2 都市再生の推進

- 外国企業の受け皿となる業務ビルや外国企業進出支援施設等の整備を担う都市再生の推進

2 国際都市にふさわしい環境形成

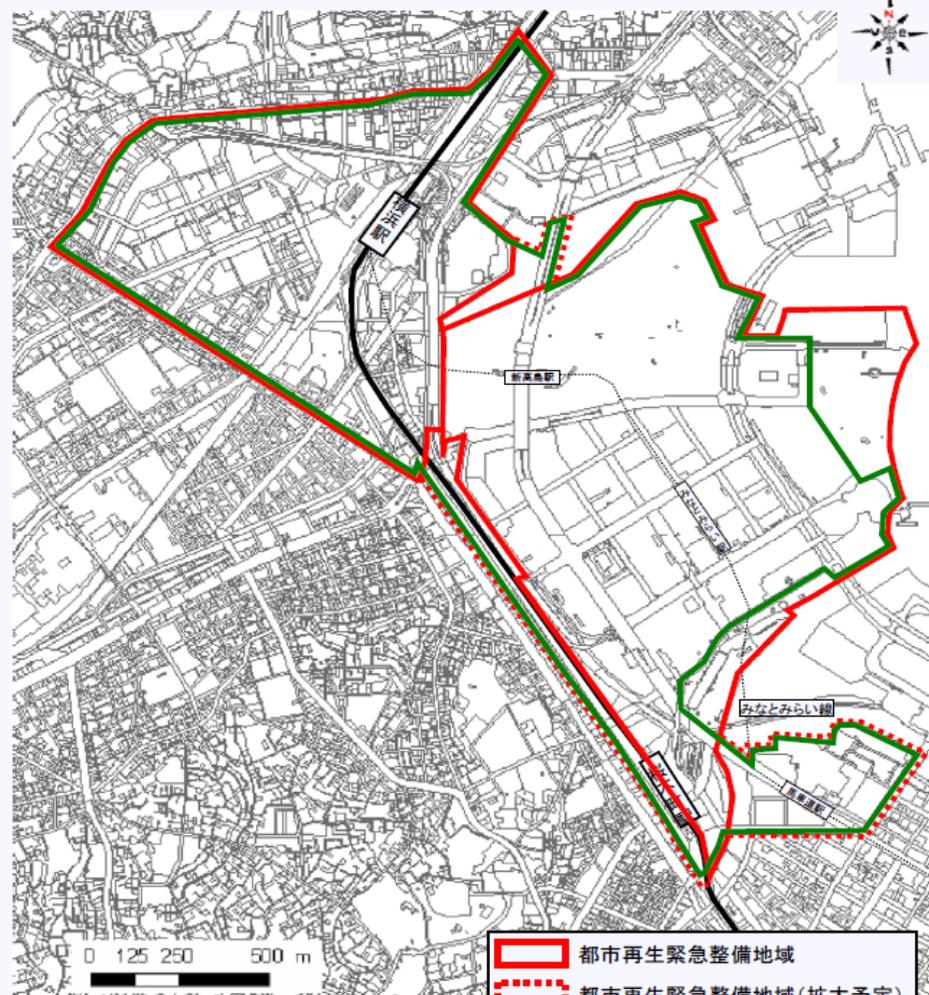
2-1 MICEの推進・機能強化

- 中・大型の国際会議を軸としたMICE全般の誘致・開催支援、パシフィコ横浜の機能強化

2-2 都市の魅力向上

- 複合開発による業務、商業、文化、情報施設等多様な機能の集積
- ハイスペック高層住宅整備
- 環境配慮型新社会システム構築(再生可能エネルギーの導入、次世代交通システム導入、スマートグリッド推進)

横浜都心臨海地域 (仮称) <約233ha>



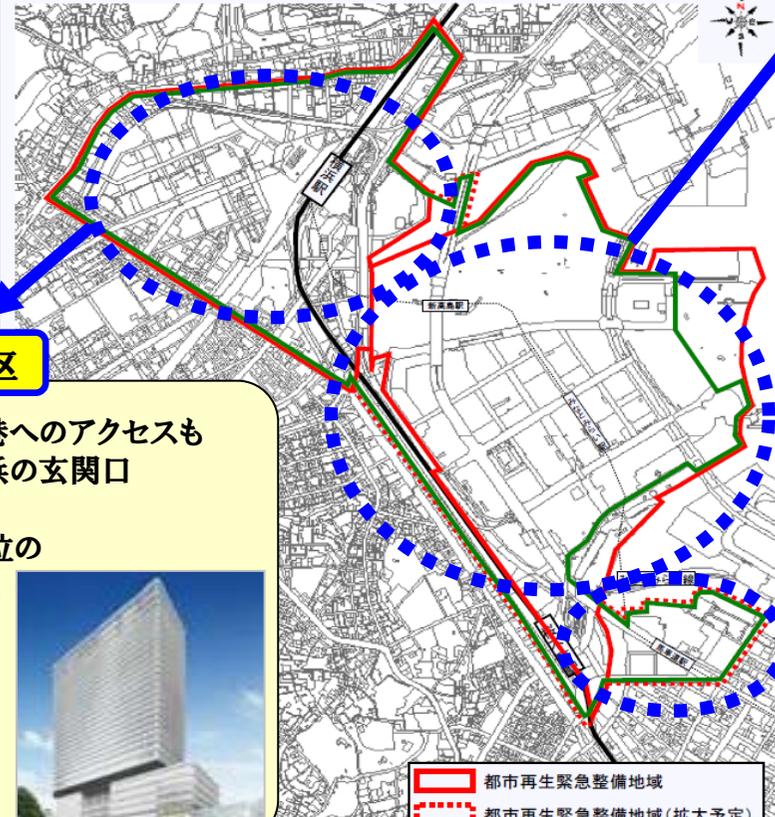
2. 国際競争力強化に向けた横浜市都心部の取組

特定都市再生緊急整備地域の指定を目指すエリア<横浜都心臨海地域(仮称)>

■概要

- ・横浜駅周辺地区・みなとみらい21地区・北仲通地区で構成される当地域は、国際都市横浜の都心として、それぞれの地域の特性を生かした土地利用により、職・住・遊の近接が実現可能な多様な都市機能が集積
- ・羽田空港への近接性や国際会議参加者数日本一を誇るMICEの実績、都市のブランド力の高さ等、国際競争という観点での優位性
- ・大規模民間プロジェクトと地域の一体化を促進する基盤整備を同時に行うことで、3地域の相乗効果による更なる国際競争力の強化を図り、日本全体の成長を牽引し、新たなビジネスチャンスを生み出す「アジア拠点」を実現

横浜都心臨海地域(仮称) <約233ha>



横浜駅周辺地区

- 国際化した羽田空港へのアクセスも容易な、国際都市横浜の玄関口
- 乗降客数全国第5位の大規模ターミナル機能
- 首都圏有数の大規模商業機能



(仮称)横浜駅西口駅ビル計画(イメージ)

みなとみらい21地区(中央地区)

- グローバル企業の本社機能や研究開発拠点等が多数集積する国際的な業務機能
- 世界最大級のコンベンション施設「パシフィコ横浜」を中心とした、我が国を代表するMICE拠点



横浜三井ビルディング(イメージ)

北仲通地区

- ウォーターフロントの空間に、高規格な居住機能や魅力的な文化・商業機能を導入



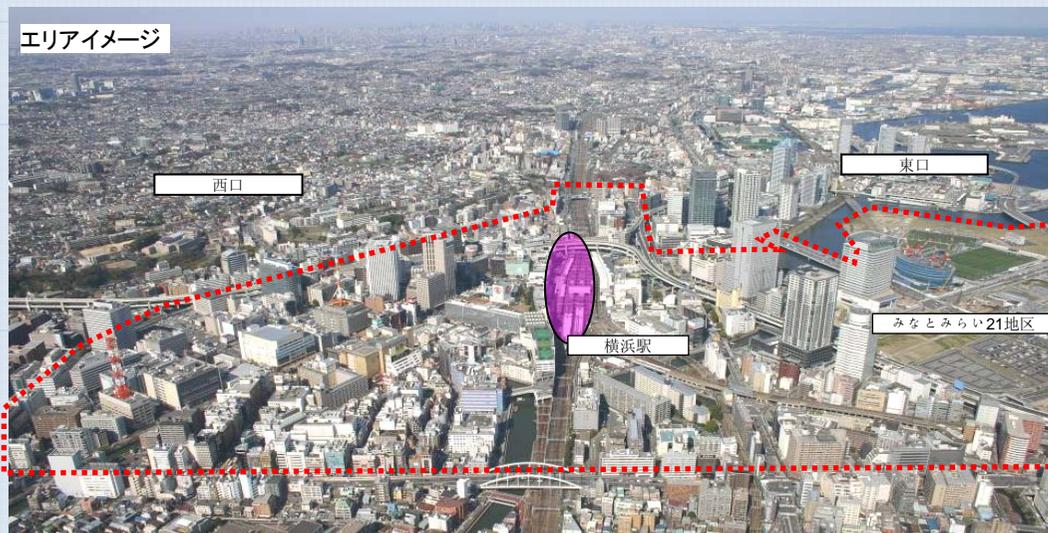
北仲通北地区開発(イメージ)

2. 国際競争力強化に向けた横浜市都心部の取組

(1) 横浜駅周辺地区

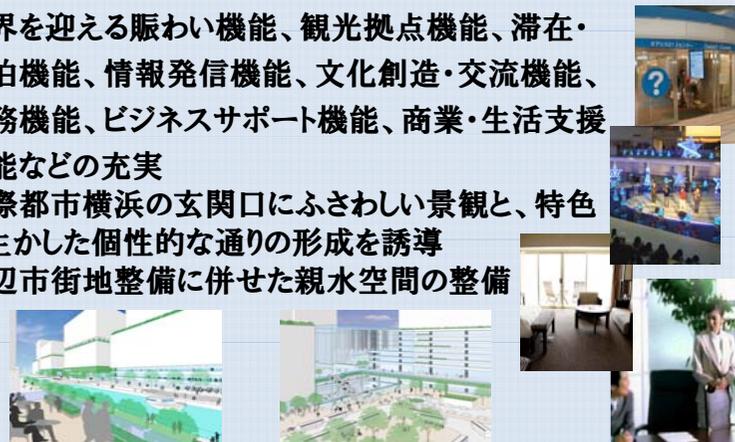
首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区において、老朽化した建築物の建替えや都市の基盤整備等の更新など既成市街地の再構築により、国際都市横浜の玄関口にふさわしい魅力賑わいのある都市空間の形成と併せて災害に強い安全な都市空間や先端的な環境都市の形成を目指します。

エリアイメージ



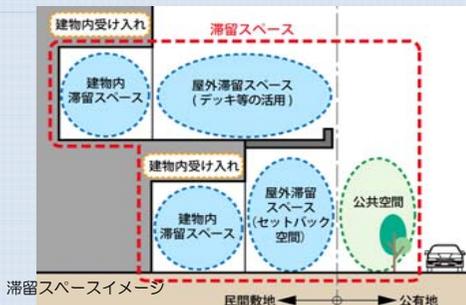
都市機能や街の個性の充実

- 商業サービス、文化、業務等都市機能の充実
- 世界を迎える賑わい機能、観光拠点機能、滞在・宿泊機能、情報発信機能、文化創造・交流機能、業務機能、ビジネスサポート機能、商業・生活支援機能などの充実
- 国際都市横浜の玄関口にふさわしい景観と、特色を生かした個性的な通りの形成を誘導
- 周辺市街地整備に併せた親水空間の整備



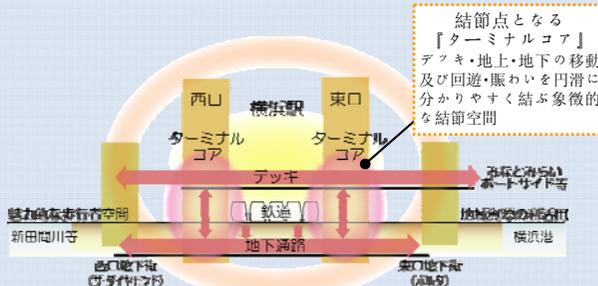
防災対策関連機能の強化

- ガイドラインにより、民間の新規開発に、災害時のための一時滞留者や帰宅困難者等のスペース、備蓄、耐震トイレの確保等を誘導
- 橋梁の架け替えや、敷地内貯留の推進等による、治水安全度向上



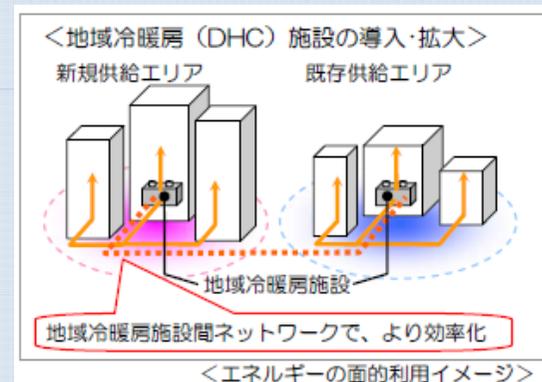
交通結節機能の強化

- 鉄道やバス等の駅内外での乗換利便性の向上や、玄関口となる交通結節空間の整備
- 駅を中心とした立体的な歩行者ネットワークの形成
- 駐車場マネジメント等による自動車交通の円滑化
- 更なる横浜都心一体化のため横浜みなとみらい地域や関内方面と連絡する道路整備 など



環境関連機能の強化

- 都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化によるヒートアイランド対策や高効率な冷暖房設備・再生可能エネルギー利用などエネルギー対策を誘導



2. 国際競争力強化に向けた横浜市都心部の取組

(2) みなとみらい21地区(中央地区)

魅力的な都市景観・街並みに配慮した都市開発事業の促進

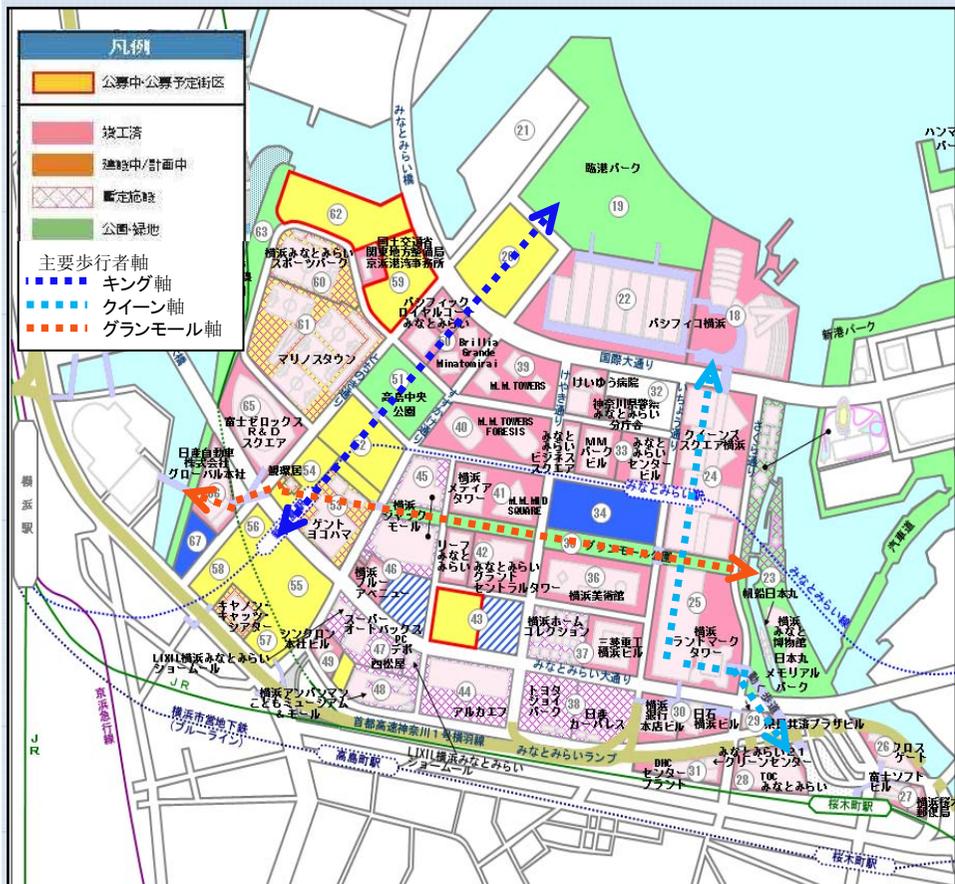
- 海、陸からの眺めを意識した、全体的に海側から山側に向かって徐々に街並みが高くなるスカイラインの形成。
- 地区内の3つの都市軸「キング軸」「クイーン軸」「グランモール軸」を骨格とした安全で快適な歩行者ネットワークの形成。
- エリアマネジメント推進によるエリアの優れた都市環境づくりや地域価値の維持向上
- 新高島駅周辺地区における開発事業を促進。



スカイライン



歩行者ネットワーク



環境先進都市の形成

- 環境重視の計画的なインフラ整備
- 建築物環境配慮制度(CASBEE横浜認証制度)の最高ランクに認証される環境性能に優れた建築物の立地
- 環境にやさしい交通ネットワーク、水・緑を活かした街づくりの推進
- 横浜スマートシティプロジェクトの展開



動く歩道の太陽光発電

災害に強い街づくりの推進

- 地盤改良等による耐震性の高い基盤等の防災関連施設、防災性の優れた建物立地
- 企業間の連携による防災訓練、帰宅困難者対応の一時避難場所の確保など地域全体の防災対策の拡充

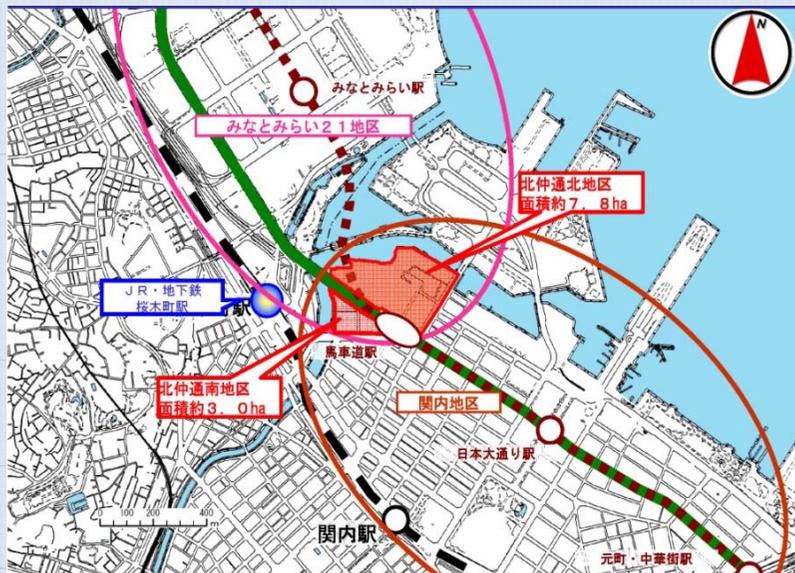


災害用地下給水タンク

2. 国際競争力強化に向けた横浜市都心部の取組

(3) 北仲通地区

ウォーターフロントと歴史を生かしたまちづくり



- 地区内の歴史的資産を保全活用する等、都心地区の魅力ある都市景観の形成

- 安全で快適な歩行者空間を整備し、都心地区のウォーターフロントに新たな歩行者ネットワークを構築

- 耐震性が高く、防災性に優れた建築物の誘導

<北地区>

- 都心地区の国際競争力強化を図り、「アジア拠点」の形成に向け、ウォーターフロントの空間に魅力的な文化、商業、業務機能、高規格な住宅等の導入を図り、多機能な国際交流拠点を形成

<南地区>

- 商業、業務機能、公益施設等の導入による複合市街地を形成



北地区完成イメージ



北地区完成イメージ



南地区現況